

自分たちでの力で行こう校外学習

教科・場面

高等部C班「総合」
「C班校外学習「てんしば」で食事をしよう！」

授業・実践のねらい

「自分たちで話し合って、主体的に計画を立て、実際に行動する。」ということに主眼を置き、集団で実際の社会経験を積む。

対象の児童・生徒

・高等部C班全員 計16名
（1年生3名、2年生4名、3年生9名
男子11名、女子5名、訪問生1名）
高等部は全学年の生徒をA、B、Cの3つの類型に分け、それぞれ、A班、B班、C班とし、授業は基本的に、この班別で行われている。

C班は、発達年齢が比較的高く、知的発達が、レデュネスに達しているかどうかの生徒たちから、軽度の知的障害の生徒までがグループピングされている。

肢体障害は最重度の生徒から、内部障害のみの生徒までいる。移動に関しては全員がほぼ自立している。

教材・教具

- ・「(予約)電話マニュアル」(高等部のC班校外学習のフォルダーに入っています)
- ・天王寺駅構内地図
- ・時刻表
- ・レストランのメニュー

工夫したところ

- ・できる限り自分たちでさせることにした。(教員で失敗の許容範囲は細かく打ち合わせた)
- ・天王寺駅構内地図などの地図を各種用意し、ルートを考えさせた。(トイレの位置なども考えさせた)
- ・「レストラン予約電話マニュアル」に沿って生徒に電話予約をさせた。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・5名ずつ3つの班に分けて、それぞれの「班」ごとに行動した。本番は訪問生を除いて全員出席した。
- ・決定の全ては基本的に生徒たちが行うようにした。(お金に関すること…レストランのメニューの経済性などは助言した。)
- ・校外学習当日までの準備に8コマの時間を費やした。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・自らが主体的に行動したことによる自信と満足感、そして反省ができたと思える。
- ・3年生の班長が、リーダーシップを発揮し、しっかりした2年生が上手に支える様子が見て取れた。
- ・予定変更が苦手な生徒が、とにかく必死に班長に付いて行動したり、普段は休憩を多く必要とするのに、「それどころではない」という感じで学校帰着まで姿勢変換をせずがんばってしまう生徒もいた。